

DTP Booster 016/017/018 参考資料

『効率的なサイト制作のためのDreamweaverの教科書』(毎日コミュニケーションズ) から抜粋

HTML

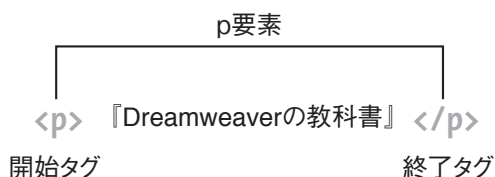
HTML/XHTML 文書では「<要素名>内容</要素名>」のように、内容を「タグ」と呼ばれる目印(マークアップ記号)で囲みます。このことを「タグ付け」または「マークアップ」といいます。

▶▶ HTML/XHTMLの構文

● 要素 (Elements)

「開始タグ」と「終了タグ」で囲む範囲全体を「要素」と呼びます。

たとえば、段落を表す「p要素」は、開始タグ<p>と終了タグ</p>で囲んだ範囲です。



● 属性 (Attribute)

あるテキストにリンクを設定する場合には、次のように<要素名 属性名="属性値">の形式で、開始タグ内に記述します。

「<」「>」「/」(スラッシュ) および要素名は、すべて半角の小文字で記述

```
<a href="http://www.adobe.co.jp">Adobe</a>
```

▶▶ HTML 文書の基本構造

HTML/XHTML 文書は、基本的にhtml要素の中にhead要素とbody要素で構成されています。

● html 要素

全体を括弧のように使用し、その文書がHTML/XHTMLであることを示します。

● head 要素

その文書のタイトル(title要素)やメタデータ(meta要素)などの基本情報を指定します。

head要素内に記述された内容は基本的にブラウザ画面には表示されません。

● body 要素

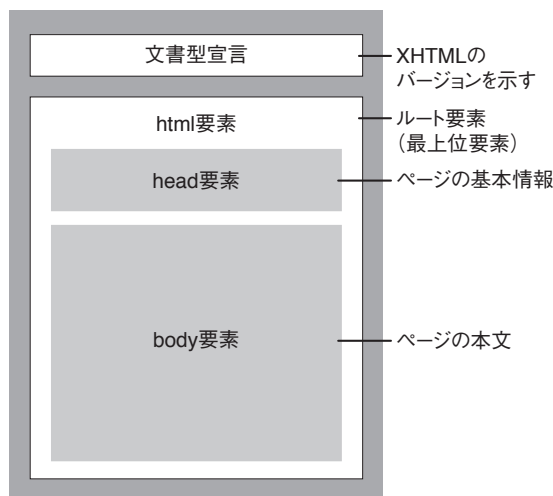
その文書をブラウザで表示したときに、見出しを指定するh1要素や段落を指定するp要素など、実際に表示される情報を記述します。

● ツリー構造

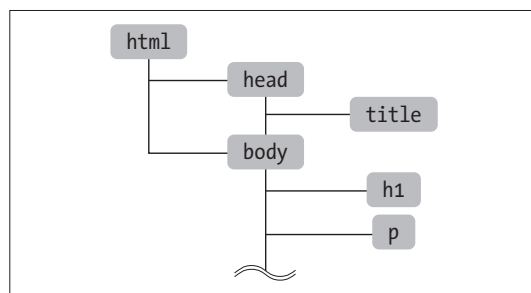
XHTML 文書では、html要素を出発点(ルート)として、それぞれの要素の内部にさらに別の要素が含まれるという構造になっています。

外側の要素を「親要素」、その内側に含まれる要素を「子要素」と呼びます。

その構造は「ツリー構造」と呼ばれ、右図のように表現できます。



HTML



▶▶ ブロックレベル要素

見出しや段落など、文書を構成する基本要素は、ブロックレベル要素としてタグ付けします。ブロックレベル要素は、「ブロック」(通常改行を伴う表示上のまとまり)としてブラウザ上で扱われます。

● ブロックレベル要素とは

段落を表す p 要素や、大見出しを表す h1 要素などはブロックレベル要素です。

ブラウザ上では、ブロックレベル要素の前後では改行され、前後に空白が取られて表示されるのが一般的です。

● 主なブロックレベル要素

<body> ~ </body> の範囲内にある内容はすべて、ブロックレベル要素内にマークアップする必要があります。

DOCTYPE が strict の場合、使用できるブロックレベル要素は右表の 13 種類です。

上記の要素のほかに、文書内の追加した箇所を示す ins 要素、削除した箇所を示す del 要素は、ブロックレベル要素のほか、インライン要素にもなりうる特殊な要素です。そのほかには、JavaScript 関連の script 要素、nonscript 要素があります。

▶▶ インライン要素

● インライン要素とは

インライン要素は、ブロックレベル要素内で特別な役割や機能をもたせる要素と考えるとよいでしょう。

● 空要素とは (Empty Elements)

img 要素や br 要素、hr 要素のように、内容をもたない要素を「空要素」と呼びます。

XHTML 文書では終了タグを用いず、
 のようにスペースと「/」(スラッシュ)を利用して空要素(タグ)を表現します。

主なブロックレベル要素

カテゴリ	要素名	意味
テキスト	h1 ~ h6	見出し
	p	段落
	div	任意の範囲、グループ化
	blockquote	引用
	address	連絡先
	pre	整形済みテキスト
リスト	ul	番号なしテキスト
	ol	番号付きテキスト
	dl	定義リスト
その他	table	表
	form	フォーム
	fieldset	フォーム内容のグループ化
	hr	横罫線

主なインライン要素

カテゴリ	要素名	意味
強調	em	強調
	strong	より強調
その他	a	リンク箇所
	br	改行(段落内)
	img	画像
	span	汎用的に使用
	object	オブジェクトの埋め込み
フォーム	input	入力部品
	textarea	テキストエリア
	select/ option optgroup	メニュー
	button	ボタン
	label	ラベル

▶▶ ブロックレベル要素のマークアップ

● 段落のマークアップ

文章のひとかたまりは、p要素(paragraph)でマークアップします。段落内で強制的に改行を行うには、br要素(break)を利用します。

```
<p>迷ったときにはp要素でマークアップしましょう。</p>
```

● 見出しのマークアップ

見出し要素(heading)には、h1からh6の6つのレベルがあります。h1要素は「大見出し」、h2要素は「中見出し」、h3要素は「小見出し」として使い、h4～h6は必要に応じてそれ以下の見出しに利用します。

```
<h1>CSS Niteについて</h1>
```

見出し要素を設定すると、多くのブラウザでは、文字サイズが大きくなり、太字で表示される

● (箇条書き)リスト

リスト項目を順不同で並列的に列挙したいときに利用するのが「リスト」(箇条書きリスト)です。それぞれの項目はli要素(list item)でマークアップします。

グローバルナビゲーション(メインメニュー)なども、ul要素でマークアップします。

- ・ 私たちのこだわり
- ・ 商品情報
- ・ お手入れについて
- ・ スキンケアについて
- ・ 使用方法
- ・ 無料サンプルお申し込み

```
<ul>
  <li>私たちのこだわり</li>
  <li>商品情報</li>
  <li>お手入れについて</li>
  <li>スキンケアについて</li>
  <li>使用方法</li>
  <li>無料サンプルお申し込み</li>
</ul>
```

多くのブラウザでは、行頭にプレット(大きい中黒)付きで表示される

● 番号リスト

リスト項目を順番に列挙したいときに利用するのが「番号リスト」です。それぞれの項目はli要素(list item)でマークアップします。

1. 皮をむく
2. ゆでる
3. マッシュする

```
<ol>
  <li>皮をむく</li>
  <li>ゆでる</li>
  <li>マッシュする</li>
</ol>
```

多くのブラウザでは、行頭に番号が表示されます。

● 定義リスト

dl要素(definition list)は、用語(dt要素: definition term)と定義(dd要素: definition description)を使用する場合に利用します。

3月20日
製品情報に新アイテムを追加しました。

3月26日
決算セールを開始しました。

```
<dl>
  <dt>3月20日</dt>
  <dd>製品情報に新アイテムを追加しました。</dd>
  <dt>3月26日</dt>
  <dd>決算セールを開始しました。</dd>
</dl>
```

多くのブラウザでは、dt要素が太字になり、dd要素にインデント(左側の余白)が設定される
CSSを使って、太字を解除したり、横並びに設定することがある

▶▶ インライン要素のマークアップ

● リンク

HTMLドキュメント同士を結び付ける役割を担うのがリンクです。正式名称はハイパーリンク(Hyperlink)。リンク設定が可能な文書を「ハイパーテキスト」と呼ぶことからHTML (HyperText Markup Language)の根幹といえます。リンクはa要素(アンカー)を使って設定します。

リンクの設定には「相対パス」と「絶対パス」の2つの種類があります。



リンク設定された文字列は青くなり、アンダーラインが表示される

新しいウィンドウで表示

[_blank]というtarget属性を追加することで、リンク先が別ウィンドウで表示されるようになります。

● 画像

画像を挿入するにはimg要素を使って挿入します。

src属性で、画像ファイルへのパスを指定します。その場所に画像がないと表示することはできません。

alt属性を使って代替テキストを指定します。

● span要素

段落などのブロックレベル要素内で、文字単位で書式設定などを行うには、span属性を使います。どのような書式にするかはCSSでクラスセレクターを定義し、span属性内にclass属性を使って指定します。

```
<a href="http://cssnite.jp/">CSS Nite</a>
```

a要素のhref属性に、入力したリンク先が設定される

```
<a href="map.html" target="_blank">地図</a>
```

```

```

石嶋 未来 (いしじま・みき)

```
石嶋 未来<span class="furigana">(いしじま・みき)</span>
```

```
.furigana {
  font-size: 75%;
  color: #666;
}
```

▶▶ 文字参照

[<] [>] ["] [&]などHTML/XHTML特有の記号や、キーボードで直接入力できない文字を表示するには「文字参照」(character references)を使用します。

文字参照は「&」から「;」までの間に記述します。

記号	文字参照	説明
<	<	小なり (less than)
>	>	大なり (greater than)
"	"	二重引用符 (quotation mark)
&	&	アンド (アンパサンド、ampersand)
	 	改行禁止スペース (non-break space)
©	©	著作権 (copyright)
®	®	登録商標 (registered trademark)
™	™	商標 (trademark)
»	»	二重山括弧引用記号、終わりギョメ

CSS

Webに関する標準化団体である「W3C」(World Wide Consortium)によって「HTMLの見栄えを表現するもの」として定義されています。

HTML/XHTMLで制作したWebページは、そのままでもデバイスやブラウザで表示できますが、CSS (Cascading Style Sheets、カスケーディングスタイルシート)を利用することで、見た目を詳細に設定することができます。

● CSSのバージョン

現在広く利用されているCSSのバージョンは「CSS2.1」です。

「CSS2.1」は、CSS2で定義された仕様のうち一般的なブラウザで実装されなかった部分を削除したり、すでにブラウザに実装されている機能を踏まえて解釈を調整した「CSS2」のマイナーバージョンアップ版です。

いくつかのプロパティが廃止されていたり、値の追加・削除や初期値の変更などが行われています。

● 構造と表現の分離

CSSには、文字色やフォント、行間などの書式に関する情報や、レイアウトなどのすべてのビジュアル情報を記述します。

HTMLやXHTML、XMLは文書の構造を指定し、Webページがどのように表現されるかはCSSを利用します。これを「構造(structure)と表現(presentation)の分離」と呼びます。

● CSSの構文

CSSは「h1 { color: #000; }」のように記述します。

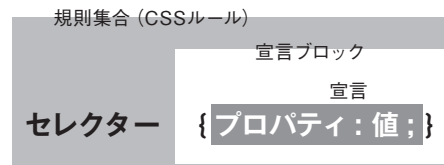
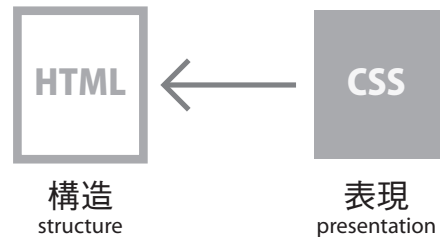
「h1要素のcolor(文字色)を#000(黒)にする」のように解釈します。対象となるh1を「セレクター」、全体を「CSSルール」と呼びます。

スタイルを適用する対象である「セレクター」には、h1やpなどHTML/XHTML上の要素名や、class名やid名を指定して適用対象を絞り込んだり、特定の要素のみに適用することができます。

セレクターにどのようなスタイルを付与するかはプロパティと値で指定します。プロパティごとに指定できる値は決まっています。

プロパティと値の組み合わせを「宣言」(declaration)と呼びます。

• CSS1	1996年12月勧告
• CSS2	1998年5月勧告
• CSS2.1	2007年7月勧告候補
• CSS3	策定中



▶▶ CSSセレクター

スタイルを適用する対象を「セレクター」と呼びます。

🕒 要素型セレクター (Type Selector)

HTML/XHTMLの要素名をセレクターとして用います。ブロックレベル要素だけでなく、インライン要素も対象となります。

```
h1 { color: #000; }
```

すべてのh1要素の文字色を黒にする

🕒 ユニバーサルセレクター (全称セレクター)

「*」をセレクター名に使うと、すべての要素名が対象になります。

```
* { margin: 0; padding: 0; }
```

すべての要素のマージン/パディングを0にする

🕒 クラスセレクター

class属性を設定した特定の要素が対象です。

「.」(ピリオド)を使って表現します。「.」(ピリオド)の次に数字を用いないように注意してください。

```
.note { color: #fc0; }  
p.note { color: #fc0; }
```

HTML/XHTML内の適用したい要素にclass属性を設定する必要があります。

「p.note」はclass属性が「note」であるp要素を指すclass名を「.redText12px」のように設定すると、色やサイズを変更したときに矛盾してしまうため、クラス名には装飾する内容を付けないことが望ましい

🕒 IDセレクター

id属性を設定した要素が対象になります(id属性は、文書内に一度しか使えません)。CSSでは、ハッシュ(＃)を使って表現します。

```
div#wrapper { color: #000; }
```

HTML/XHTML内の適用したいid属性を設定する必要があります。

「div#wrapper」はid属性が「wrapper」であるdiv要素を指す。

IDセレクター内では「-」(ハイフン)や「_」(アンダースコア)が使える。

ただし、古いブラウザでこれらをサポートしていないものがあるため、記号類を使わずに「#leftSidebar」のように区切る箇所に大文字を使う方法を用いることがある

🕒 子孫セレクター (descendant selector)

「セレクター セレクター」の形式で、セレクターをスペース区切りで指定します。その親要素に含まれるすべての子孫要素を対象とします。

```
#wrapper ul#nav
```

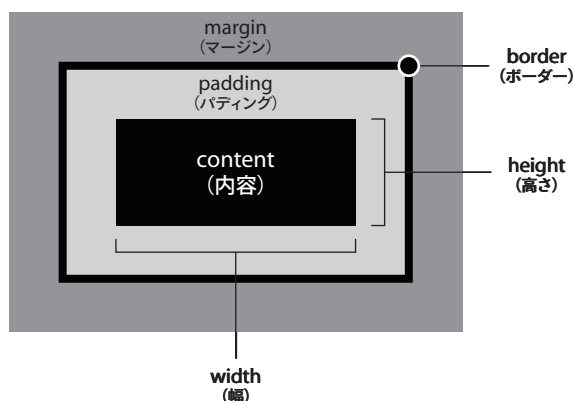
id属性がwrapperの要素内の、id属性がnavのul要素を対象とする

▶▶ ボックスモデルとは

HTML/XHTMLのブロックレベル要素それぞれは、四角形の領域を持っていて、これを「ボックス」といいます。

ボックスはさらに次の4つの領域によって構成されます。

- 内容 (content) :
要素に含まれるテキストや画像などの内容
- パディング (padding) :
内容とボーダーとの余白
- ボーダー (border) : 枠線
- マージン (margin) :
ボーダーと他の要素との間隔



▶▶ Dreamweaverの [CSSスタイル] パネルの文言と対応プロパティ、および値

カテゴリ	項目名	意味 (項目名)	値
タイプ	Font-family	フォント	フォント名
	Font-size	サイズ	値 (ピクセル、%、em)
	Font-weight	ウエイト	normal/bold/bolder/lighter/100/200...
	Font-style	スタイル (斜体/正体)	normal/italic/oblique
	Font-variant	バリエーション	normal/small-caps
	Line-height	ライン高 (行間/行送り)	値 (ピクセル、%、em)、multiple
	Text-transform	大文字/小文字	capitalize/uppercase/lowercase/none
	Text-decoration	飾り (下線や取消線)	underline/overline/line-through/blink/none
	Color	カラー	値 (#ffffff / #fff)
背景	Background-color	背景色	値 (#ffffff / #fff)
	Background-image	背景イメージ	ファイルへのパス
	Background-repeat	繰り返し	repeat/repeat-x/repeat-y/no-repeat
	Background-attachment	添付 (位置固定)	scroll/scroll/scroll/fixed
	Background-position (X) Background-position (Y)	水平位置 垂直位置	left/center/right、値 (ピクセル、%) top/center/bottom、値 (ピクセル、%)
ブロック	Word-spacing	単語間隔	値 (ピクセル、%、em)
	Letter-spacing	文字間隔	値 (ピクセル、%、em)
	Vertical-align	縦に整列	top/middle/bottom、値 (%)
	Text-align	テキストの行揃え	left/right/center/justify
	Text-indent	テキストインデント	値 (ピクセル、%、em)
	White-space	ホワイトスペース	normal/pre/nowrap
	Display	表示	none/inline/block/.../inline-table/...
ボックス	Width	幅	値 (ピクセル、%、em)、auto
	Height	高さ	値 (ピクセル、%、em)、auto
	Float	フロート	left/right/none
	Clear	クリア	left/right/both/none
	Padding [Top/Right/Bottom/Left]	余白	値 (ピクセル、%、em)
	Margin [Top/Right/Bottom/Left]	マージン	値 (ピクセル、%、em)、auto
ボーダー	Style	スタイル	none/dotted/dashed/solid/...
	Width	幅	thin/medium/thick、値 (ピクセル)
	Color	カラー	値 (#ffffff / #fff)
リスト	List-style-type	タイプ	disc/circle/square/.../none
	List-style-image	ブレットイメージ	ファイルへのパス、none
	List-style-position	位置	inside/outside
位置	Position	タイプ	absolute/fixed/relative/static
	Width/Height ([ボックス] カテゴリと同様)	幅/高さ * [ボックス] カテゴリでも指定可	値 (ピクセル、%、em)、auto
	Visibility	可視性	inherit/visible/hidden
	Z-Index	Z インデックス (重ね順)	値 (ピクセル、%、em)、auto
	Overflow	オーバーフロー	visible/hidden/scroll/auto
	Placement [Top/Right/Bottom/Left]	配置	
	Clip [Top/Right/Bottom/Left]	切り抜き	
拡張	Page-break-before	改ページ前	auto/always/left/right
	Page-break-after	改ページ後	auto/always/left/right
	Cursor	カーソル	crosshair/text/wait/default/...
	Filter	フィルタ	Alpha/Blend/...